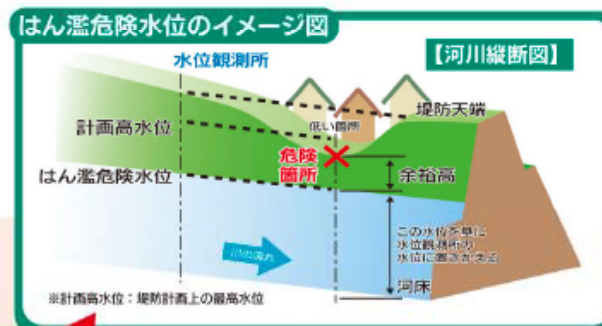


(2)洪水時の情報提供～②基準水位観測所の意味(区間代表性)～

- ・各基準水位観測所にはそれぞれ**受け持ち区間**があります。
- ・基準水位観測所の水位は、受け持ち区間内の**堤防の低い地点**で決まっていますので、水位の情報は、観測所地点の情報(点の情報)ではなく、**受け持ち区間の情報(線の情報)**として見る必要があります。

はん濫危険水位は、基準水位観測所の受け持ち区間毎に堤防の低い箇所で決められています。

洪水予報は、指定されている河川全体に発表されますが、水位観測所ごとにはん濫危険水位が設定されており、警報が発表されても全ての区間ではん濫の危険があるわけではありません。そのため、水位観測所の水位に注意し、河川情報をごまめにチェックしましょう。



大きく分けて3つのパターンがあります。

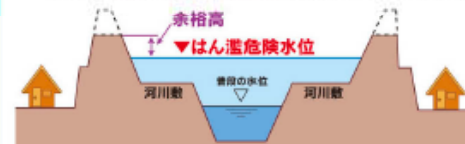
堤防がないと…

堤防がないところは、家屋の地盤高付近の水位をもとに、水位観測所の水位に置き換えてはん濫危険水位とします。



堤防はあるが低いと…

堤防が低い場合は堤防より、余裕高を引いたところの水位をもとに、水位観測所の水位に置き換えてはん濫危険水位とします。



堤防が完成していると…

完成堤防の場合は、計画高水位＝はん濫危険水位となります。

